

検定合格で自信つき就職プラス

～平成26年度アンケート調査結果がまとまる～

平成26年度の指導が2月までに終了し、指導先と指導者に、JAM熟練技能継承事業の成果の指標のひとつとしてアンケート調査を実施した。

今年度は、指導先の高等学校26校（延べ40職種）・中小企業2社、および指導を受けた生徒・従業員388名、そして指導にあたった熟練技能者19名（延べ41職種）に回答いただいた。

昨年11月にこのページで報告したとおり、前期のアンケート結果から、受講者の「受講回数が少なかった」「以前受けた指導者と違ったことでの戸惑い」や熟練技能者の「時間的な制約で技能を十分伝えられなかった」といった課題が得られ、これを今後の「ものづくりマイスター制度」を運営する職業能力開発協会に引き継ぐべく働きかけをしている。

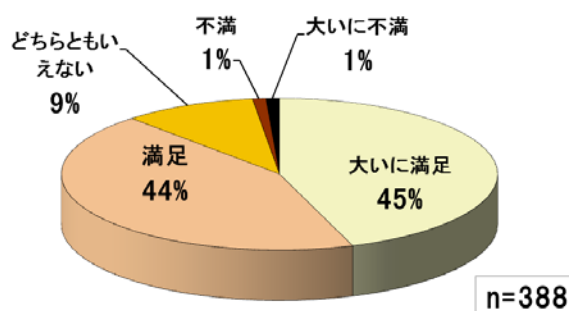
アンケートの自由記述欄から上記の課題が得られたほかに、高年齢の熟練技能者の技能指導を受けた高校生から「熟練技能者の指導が良くて合格できました」という書き込みを数多く記されていた。

また、卒業を間近に控えた高校3年生に、技能検定資格取得についてインタビューしたところ、「とても大きな自信になり、就職の面

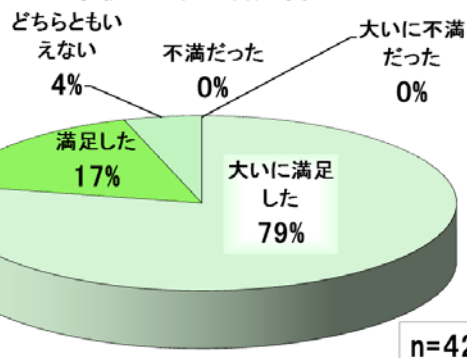
接で強気に出られた」と、今時の高校生を感じさせる返答が返ってきた。

JAM熟練技能継承事業による技能指導の効果は、技能を身につける直接効果と、それが自信となって人生にプラス作用をもたらす間接効果の両面が実証された。

＜指導を受けた生徒・従業員の実感＞



＜学校・企業の満足度＞



＜JAMの事業で指導したことへの満足＞

